

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成26年5月15日(2014.5.15)

【公開番号】特開2012-32794(P2012-32794A)

【公開日】平成24年2月16日(2012.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2012-007

【出願番号】特願2011-139769(P2011-139769)

【国際特許分類】

G 09 G 3/36 (2006.01)

G 09 G 3/34 (2006.01)

G 09 G 3/20 (2006.01)

G 02 F 1/133 (2006.01)

【F I】

G 09 G 3/36

G 09 G 3/34 J

G 09 G 3/20 6 1 2 U

G 09 G 3/20 6 2 1 E

G 09 G 3/20 6 2 2 K

G 09 G 3/20 6 2 3 U

G 09 G 3/20 6 4 2 K

G 09 G 3/20 6 2 3 Q

G 09 G 3/20 6 2 1 A

G 02 F 1/133 5 3 5

【手続補正書】

【提出日】平成26年4月2日(2014.4.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

異なる色を呈する複数の光源のそれぞれが点滅を繰り返し、且つ m 行(m は、4以上の自然数)に配設された画素毎にそれぞれの色を呈する光の透過を制御することで画素部に画像を形成する液晶表示装置の駆動方法であって、

1行目乃至 A 行目(A は、 $m/2$ 以下の自然数)に配設された画素に対して第1の色を呈する光の透過を制御するための画像信号を入力し且つ($A+1$)行目乃至 $2A$ 行目に配設された画素に対して第2の色を呈する光の透過を制御するための画像信号を入力する期間内において、1行目乃至 B 行目(B は、 $A/2$ 以下の自然数)に配設された画素に対して前記第1の色を呈する光の透過を制御するための画像信号が入力され且つ($A+1$)行目乃至($A+B$)行目に配設された画素に対して前記第2の色を呈する光の透過を制御するための画像信号が入力された後に、前記1行目乃至 B 行目に配設された画素のそれぞれに対して第1の色を呈する光を照射し且つ前記($A+1$)行目乃至($A+B$)行目に配設された画素のそれぞれに対して第2の色を呈する光を照射し、

前記第1の色を呈する光及び前記第2の色を呈する光の一方は、前記異なる色を呈する複数の光源の少なくとも2つを点灯させることで形成される有彩色を呈する光であることを特徴とする液晶表示装置の駆動方法。

【請求項2】

請求項 1 において、

前記有彩色を呈する光は、赤を呈する光、緑を呈する光、及び青を呈する光のいずれか2つを混色させることによって形成されることを特徴とする液晶表示装置の駆動方法。

【請求項 3】

請求項 1 又は請求項 2 において、

C 行目 (C は、 A 以下の自然数) に配設された複数の画素及び (A + C) 行目に配設された複数の画素に対する画像信号の入力が、同一期間において行われることを特徴とする液晶表示装置の駆動方法。